

総会フラッシュ

●JERコンクリート補改修協会管路部会 (8月3日)

第7回部会総会が東京都港区のホテルアジュール竹芝で開かれた。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴いオンライン中継も行った。

井上敬介部会長＝写真＝は、2021年度の重点方針について活動報告を行い「今後、部会技術のバージョンアップを進めていながら下水道管路施設、マンホールの効率的な維持管理に貢献していく」とあいさつした。



総会では、21年度事業や収支決算報告、22年度事業計画案などについて審議され、全て承認された。

22年度事業計画として、展示会などによる管路部会の知名度向上、積算ソフトの運用と活用、管路部会の総合カタログ作成などに取り組む。

●JERコンクリート補改修協会 (8月3日)



2022年度定時総会は、全国的なコロナ患者の増加を受けて、東京会場とWEB参加併用によるハイブリッド開催となった。

あいさつに立った佐藤匡良会長＝写真＝は、世界情勢の影響による資材不足やコスト高騰に触れ「協会活動は官公庁物件が中心で堅調だが、受注競争の激化や発注単価の見直しを行わないと適正な利益が確保できない。会員の連携強化と協会の強みを生かした活動が重要」と述べた。さらに、インフラメンテ市場について「施設の老朽化対策や長寿命化対策などは将来の成長課題だ。新技術の開発や市場開拓への啓発活動を展開していく」と意気込んだ。

21年度事業報告や収支報告などの審議は承認可決。22年度事業計画では、カタログ改定やホームページのリニューアルを行う。また、コンクリート施設の長寿命化に係る技術研修会やセミナーなどを開催していく。